

地域の居場所 —コミュニティカフェ

- 888-891 **1** 多様な「居場所」が地域を豊かにする
●長田英史
- 892-895 **2** まちかど健康相談室（栄養ケア・ステーション）
●山口はるみ
- 896-899 **3** 失語症カフェ「ワックル」
●園田尚美
- 900-903 **4** 子育て，親育ちはお腹の中から
—マタニティカフェ ゆるり
●柴野奈津子
- 904-908 **5** D カフェと医療・介護・市民のネットワーク
●竹内弘道
- 910-913 **6** 多職種連携から共生の地域づくりに向けて
さまざまな人が集う場をつくる
●高瀬比左子



人と人が出会う場所や，同じ境遇をもった人たちの情報交換の場，自宅や職場以外にふらりと立ち寄れる場所として，コミュニティカフェという「居場所」が注目されています。認知症カフェや高齢者のサロンだけでなく，失語症や栄養，子育て世帯や介護・支援者側が集うような，さまざまな人たちの「居場所」もつくられ始めています。地域コミュニティの核として，「居場所」の役割と可能性を考えてみたいと思います。

企画担当 ● 「地域リハビリテーション」誌編集委員会